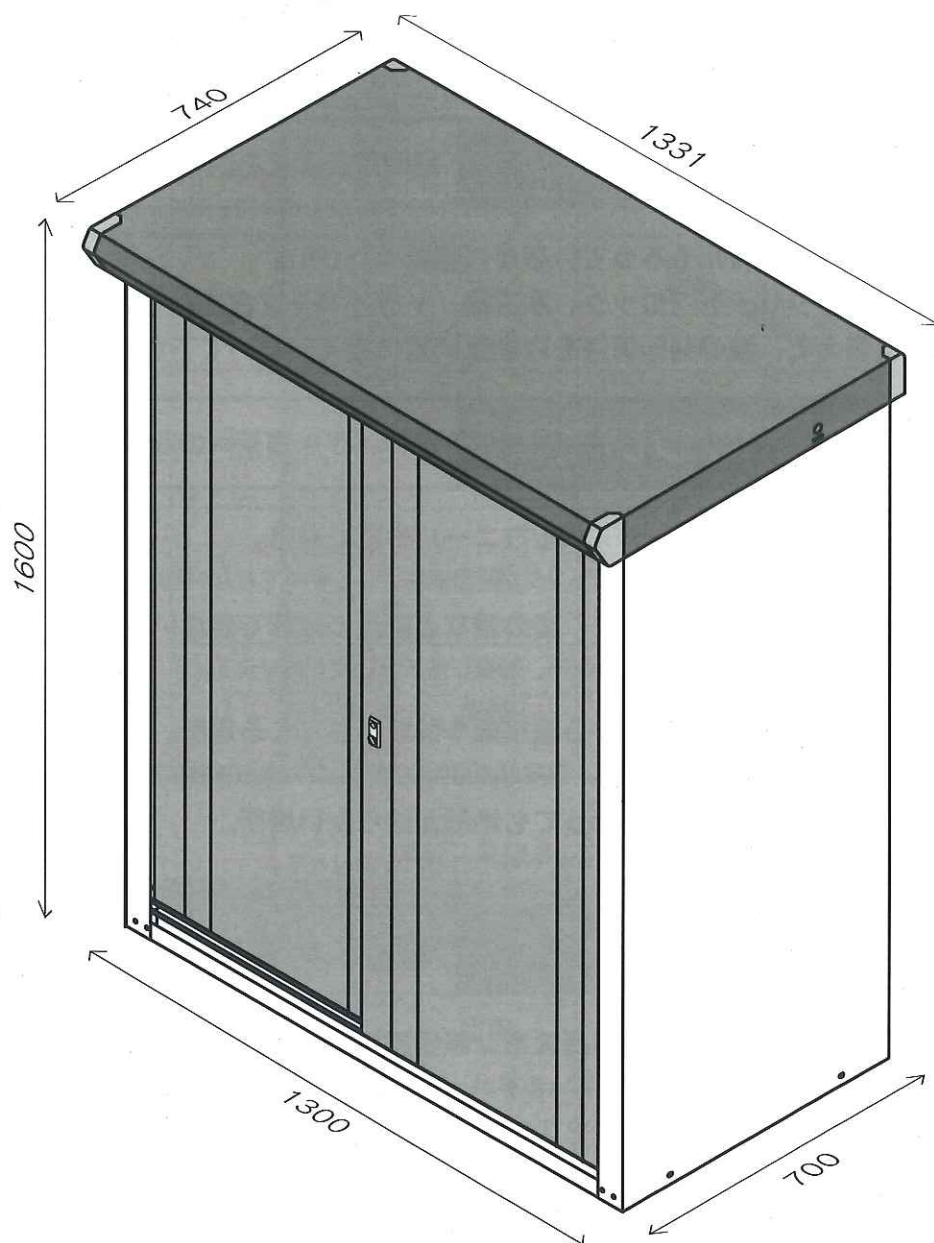
SKFⅡ-mini　組立説明書

サイズ表（単位：mm）		
間口	1300	(1331)
奥行	700	(740)
高さ	1600	

（　）は屋根のサイズです

棚板対荷重：150kg/㎡
棚板１枚あたりの耐荷重は46kgまで（ただし棚板を追加した場合でも合計100kgを超えて荷物を積載しないでください。）
※荷物を載せる際は静かに載せて下さい。

このたびは、「SKF Ⅱ -mini」をお買上げいただき、誠にありがとうございます。この組立説明書には、組み立て・設置いただく際の注意事項および手順が記載されています。**組み立てる前に必ずお読みになり、正しく安全な作業を行ってください。**また、この製品を末永く御使用いただくために、この説明書は大切に保管してください。

安全のために

ここに記載してある内容は、安全に設置、組み立てを行っていただく為の重要な事項です。必ずお読みになり、十分理解したうえで正しく確実な作業をお願いいたします。

注意	この事項を守らない場合、ケガや死亡・物的損害の原因になります。
留意	この事項を守らない場合、ケガや物的損害の原因になります。

組み立てる前に

説明書をよくお読みになり、順序にしたがって作業してください。

(1) 部材表を見て部材がそろっているかご確認ください。

(2) 基礎用コンクリートブロック、水平器、ドライバーは含まれていませんので別途ご用意ください。

(3) 紛失に備えて、鍵の刻印番号を取扱説明書に控えておいて下さい。

鍵刻印番号	

設置場所について

次のような場所への設置はしないでください。

注意

(1) ベランダ（バルコニー）や避難通路。

※非常時にベランダが避難通路として使用できない恐れがあります。

(2) 屋根や屋上、崖の淵など安全の確認できない場所。

※強風により転倒、破損し落下の危険があります。

留意

(1) 家の屋根から直接雨や雪が落ちてくる場所。

※変形や破損、雨漏りの原因になり、ケガや収納物に損害を与える恐れがあります。

(2) 地固めを行っても地盤が柔らかい場所。

※立て付けの不良や転倒の恐れがあります。

組み立てにあたって

次の事に気をつけて、安全に作業してください。

注意

(1) 手袋や長袖長ズボン等保護具を着用して作業してください。

※万全をきしていますが、部材等でケガをする恐れがあります。

(2) 無理をせず２人以上で作業してください。

※１人でも組み立て出来る設計になっていますが、重量部材もございますので、無理をするとケガや破損の原因になります。

(3) 強風の日には作業をしないでください。

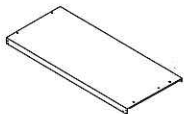
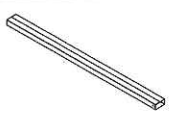
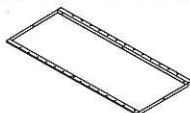
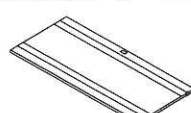
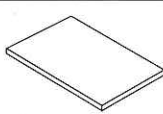
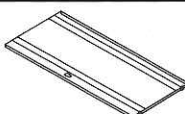
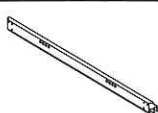
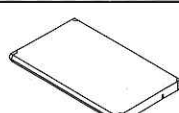
※部材の飛散や転倒による破損、ケガをする恐れがあります。

(4) 組み立て終了後はボルト・金具類の付け忘れやゆるみがないか確認してください。

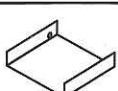
※強度が弱くなり倒壊、破損の原因なります。

(5) 転倒防止工事を必ず行ってください。

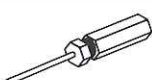
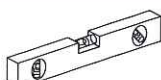
※強風等で転倒し、破損、物的損害、ケガをする恐れがあります。

お手入れについて

末永くご使用いただくために次の事項をお守りください。

(1) 本体に付着したほこりや汚れは水拭き、または中性洗剤を使用して落として下さい。

(2) キズは錆の原因になりますので早めに補修してください。

《部品表》

各梱包にはそれぞれ下記の部品がはいっておりますので、まず部品表と照らし合わせ全部そろっているか確認してください。

部品番号	名称	形状	数量	部品番号	名称	形状	数量
1	床板		1	7	後ランマ		1
2	側板右		1	8	前柱		1
3	側板左		1	9	後柱		1
4	後板		2	10	右扉		1
5	棚板		1	11	左扉		1
6	前ランマ		1	12	屋根		1

〔ビス袋〕

※ビス及びネジの数量は予備分も含まれています。

部品番号	名称	形状	数量	部品番号	名称	形状	数量
13	M6 ビス		39	17	錠前		1 (鍵は２本)
14	タッピングねじ		6	18	棚受け金具		4
15	傾斜金具		1	19	アンカープレート		4
16	転倒防止金具＋メッキビス		各 2	20	注意ステッカー		1

【ご用意していただくもの】

上記部品の以外に下記の部品が必要になりますので、お客様にて別途ご用意ください。

名称	形状	数量	名称	形状	数量	名称	形状	数量
ブロック		6	プラスドライバー		1	水平器		1

《組立手順》

以下の手順に従い、正しく安全に組み立て作業をおこなってください。

1 基礎および床板の設置

使用する部品		
部品番号	名称	数量
1	床板	1

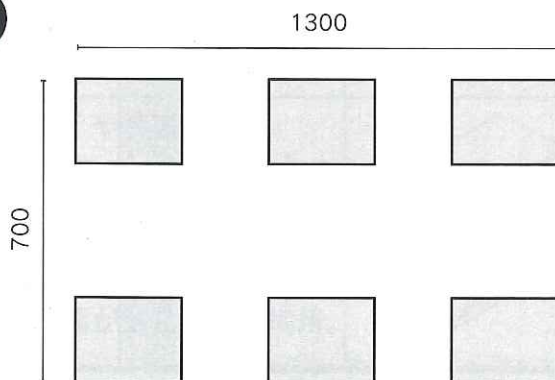
※別途コンクリートブロックを６個ご用意ください。

❶地盤が砂利や土の場合は地ならし・地固めを充分に行ってください。

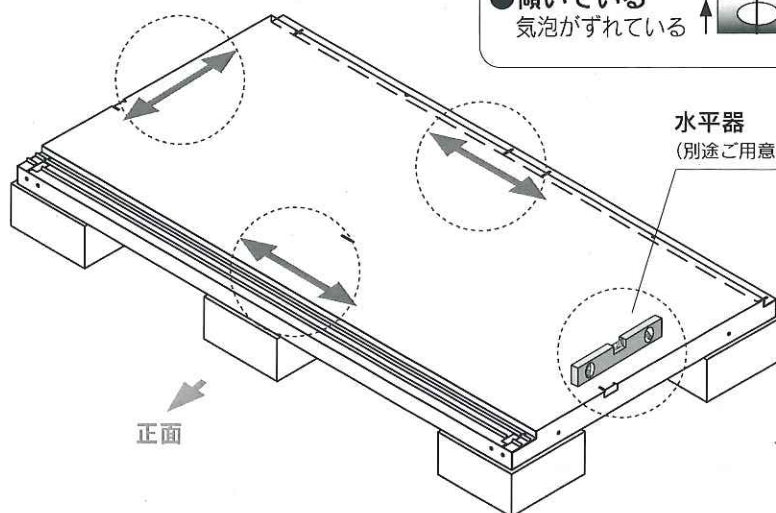
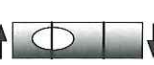
※不十分だとや品物を内部に収納したとき重みで水平がくるい、戸当たりが悪くなる恐れがあります。

❷コンクリートブロックを図１の様な間隔で並べ高さを均等にし、水平器を使用して水平になるように調整してください。

❸配置したブロックの上に床板を設置し、床板全体が水平になるように水平器を使用して調整してください。

※水平になっていない場合は再度、地ならし・地固め等の調整を行ってください。

❶

地盤がコンクリートの場合は❷へ進んで下さい。

❷

❸ 4カ所の水平を確認してください。

2 側板およびランマの取付

使用する部品		
部品番号	名称	数量
2	側板右	1
3	側板左	1
4	前ランマ	1
5	後ランマ	1
13	M6 ビス	16
14	タッピングねじ	2

❶設置した床板に側板右を取付け、ビスで固定します。

M6 ビス× 4 個

❷つづいて側板左を取付け、ビスで固定します。

M6 ビス× 4 個

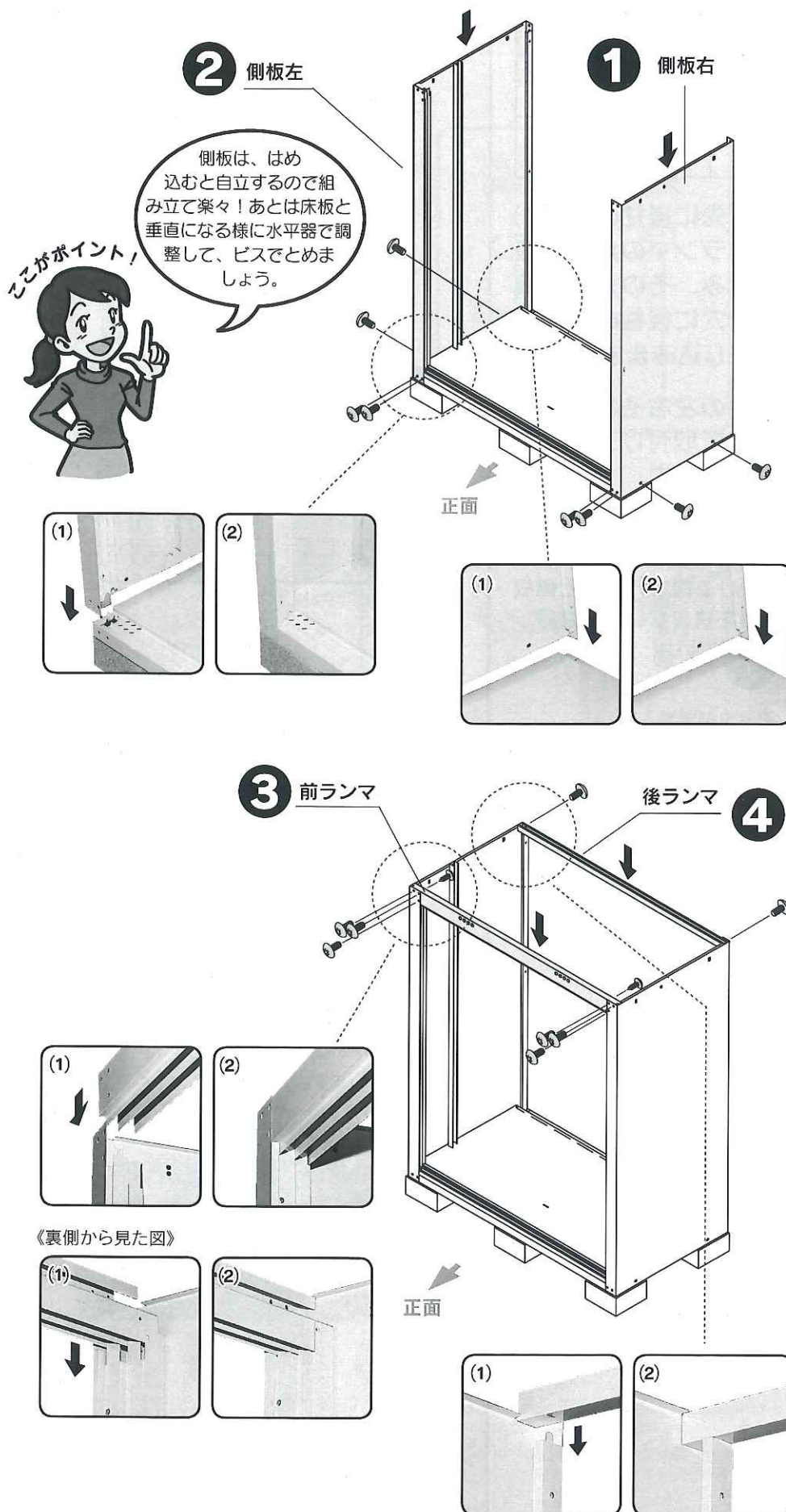
❸前ランマを左右側板前面に取付け、ビスとねじで固定します。

M6 ビス× 4 個

タッピングねじ× 2 個

❹後ランマを左右側板後面に取付け、ビスで固定します。

M6 ビス× 2 個

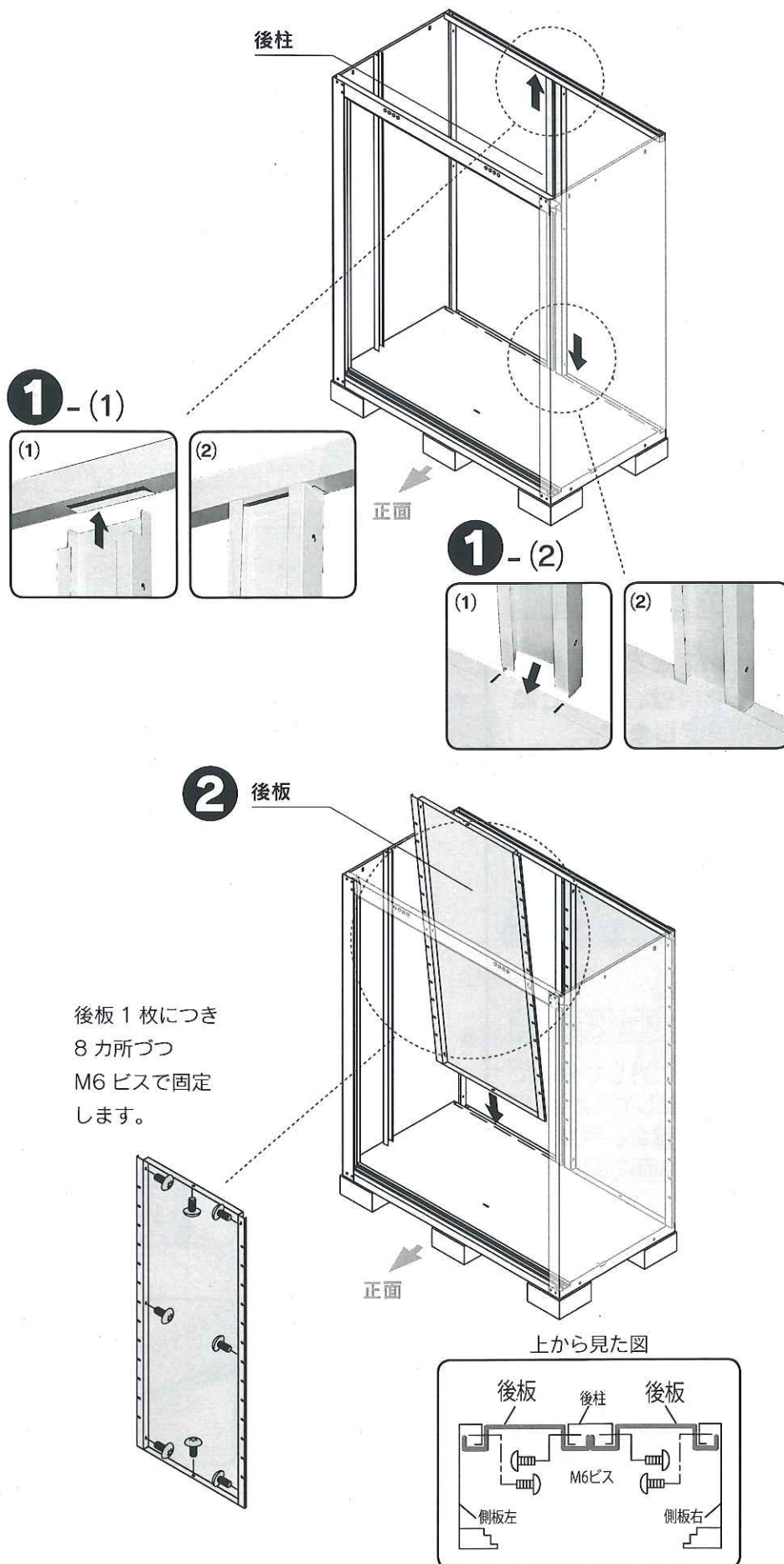
※側板が床板に対して垂直になるよう調整してください。垂直でない場合、戸当たりが悪くなる原因になります。

3 後柱および後板の取付

使用する部品		
部品番号	名称	数量
9	後柱	1
4	後板	2
13	M6 ビス	16

❶まず先に後柱の上部(1)を後ランマの角穴に差し込み、そのまま床板の角穴に後柱の下部(2)を差し込みます。

❷後柱の左右それぞれに後板を取付け、ビスで固定します。

M6 ビス× 16 個

※取付ける際は、後柱と側板に指を挟まないよう注意してください。

4 屋根傾斜の選択

使用する部品		
部品番号	名称	数量
2	屋根	1
3	傾斜金具	1
16	転倒防止金具	2

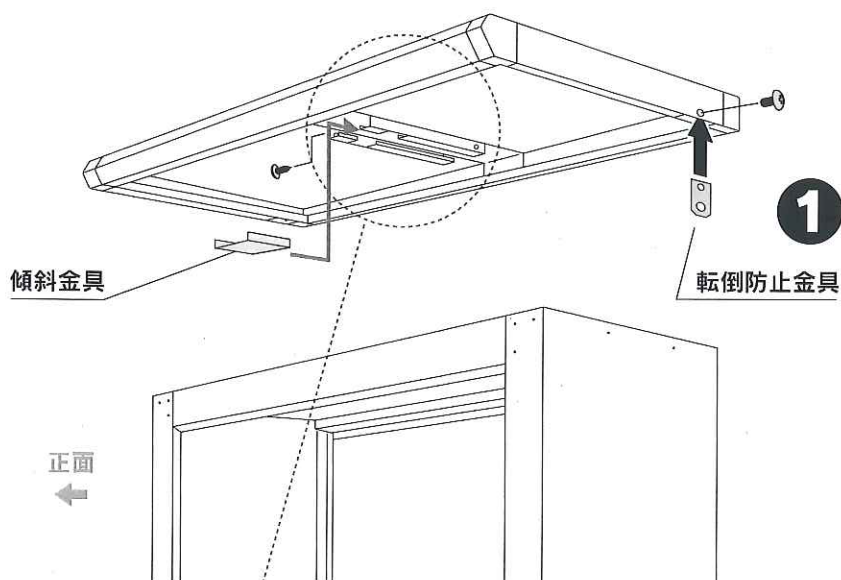
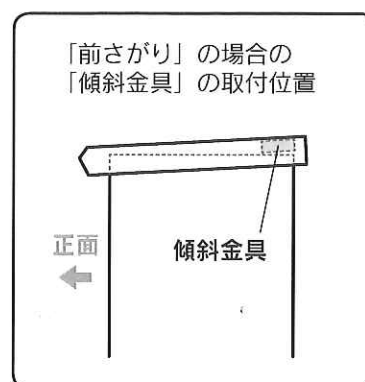
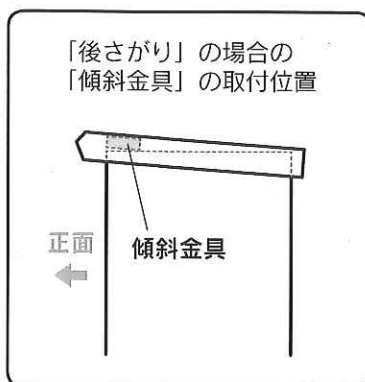
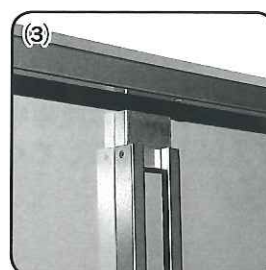
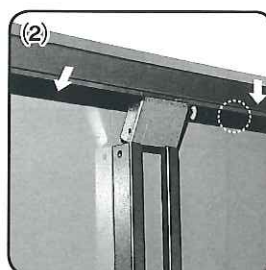
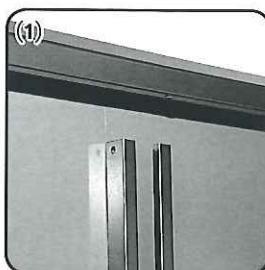
❶屋根側面の後方両側に転倒防止金具を取付け、ビスで固定します。

メッキビス×２個

❷屋根を「前さがり」「後さがり」どちらにするか決め、屋根裏側に「選択した屋根傾斜」に合わせて傾斜金具を取付け、ねじで固定します。

タッピングねじ×１個

※傾斜金具は「前さがり」の場合は「後側」に取付け、「後さがり」の場合は「前側」に取付けて下さい。

◎屋根の傾斜を「前さがり」「後さがり」どちらかに選択できます。

5 屋根と前柱の取付

使用する部品		
部品番号	名称	数量
5	前柱	1
13	M6 ビス	6
14	タッピングねじ	3
16	メッキビス	2
20	注意ステッカー	1

❶いったん屋根を上に載せます（まだビスで固定しないでください）。

❷屋根を少し持ち上げ前柱の上側を屋根に差し込み(1)、そのまま前柱下側を床板の角穴に差し込みます(2)。

❸屋根を完全にかぶせ、前柱と屋根を傾斜に合わせたネジ穴で固定します。

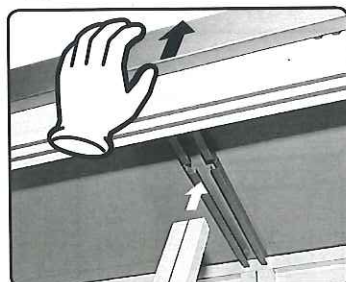
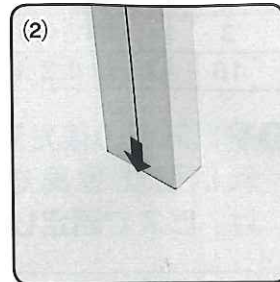
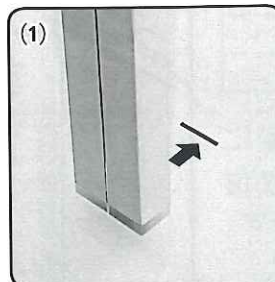
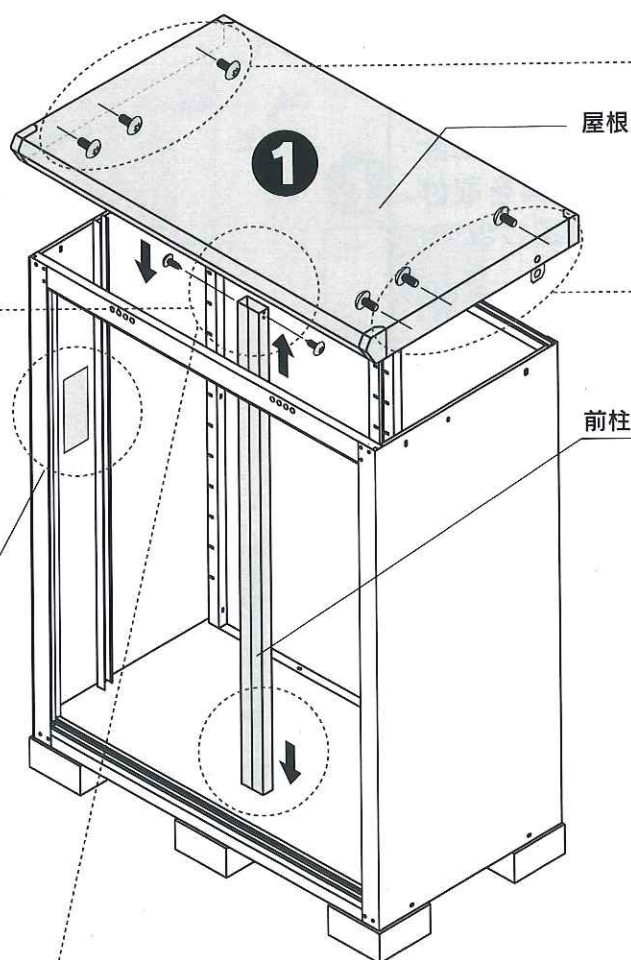
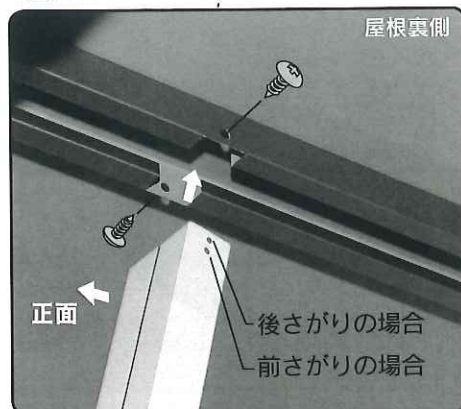
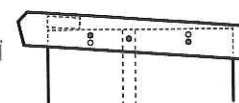
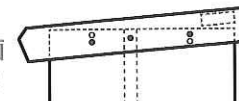
タッピングねじ×２個

❹内側から屋根と側板をビスで固定します。

M6 ビス×６個

❺注意ステッカーを貼付けます。

※ビス、タッピングねじの固定位置は屋根傾斜によって変わりますので必ず合わあせてください。

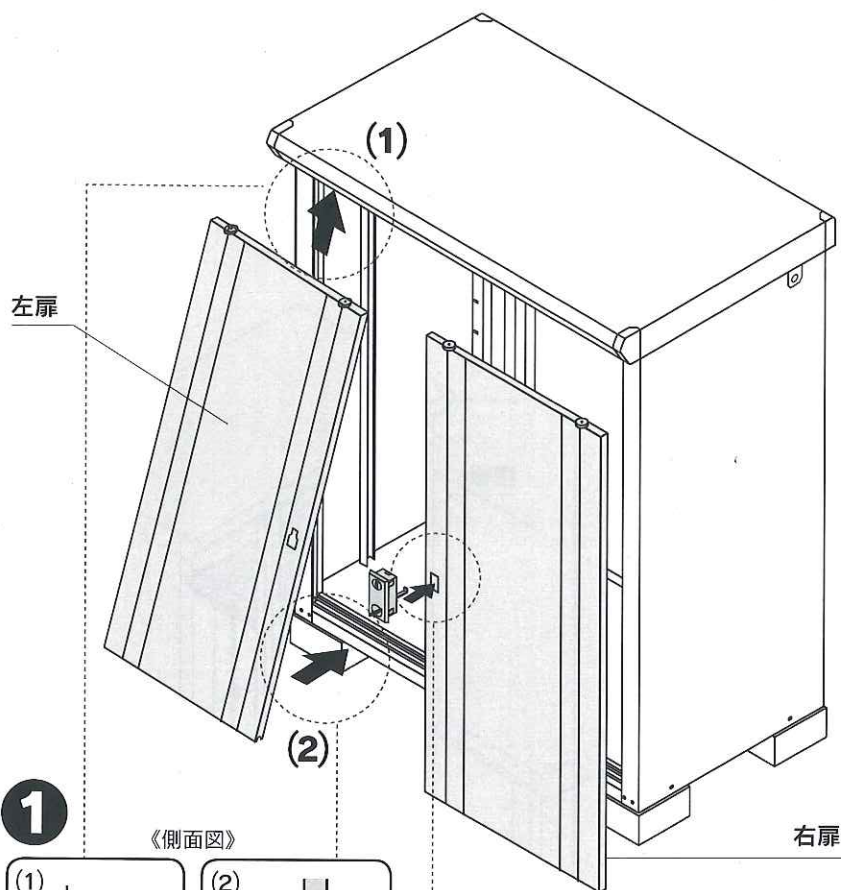
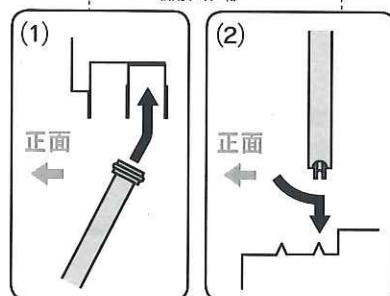
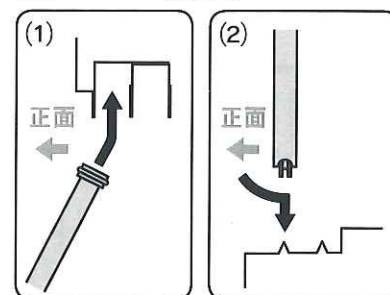
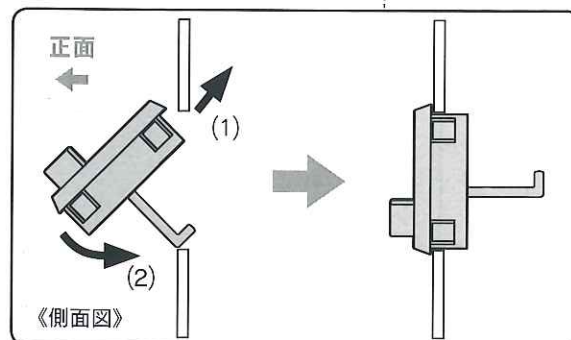
※屋根を載せる際は無理をせず２人以上で作業してください。

6 扉と錠前の取付

使用する部品		
部品番号	名称	数量
10	右扉	1
11	左扉	1
16	錠前	1

❶左扉をレール溝の奥上部に差し込み(1)、つづいて下側をレール奥下部に載せます(2)。

❷右扉は手前のレール溝に左扉と同様の手順ではめ込んで下さい。

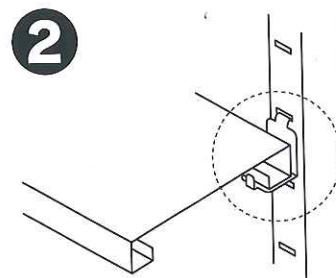
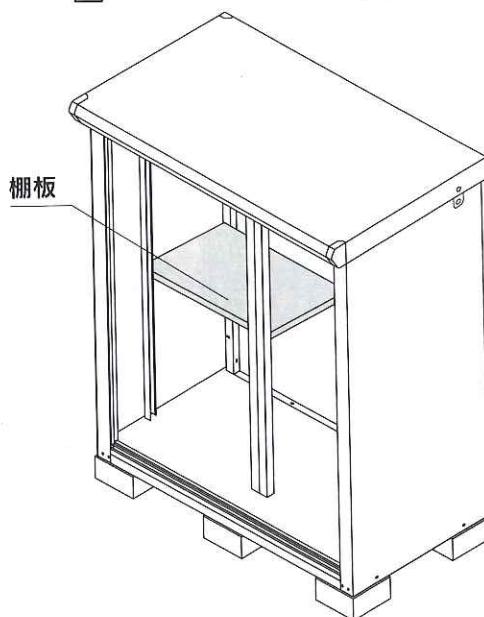
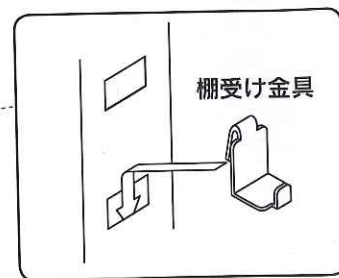
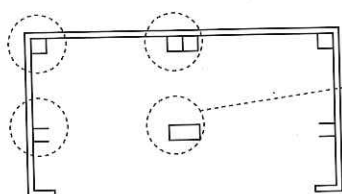
❸右扉の角穴に錠前を取付けます

※錠前を差し込む穴がズレていると、上手くはまりませんので、両方の扉がしまった状態で行ってください。

7 棚板の取付

使用する部品		
部品番号	名称	数量
5	棚板	1
18	棚受け金具	4

❶棚板を取付けたい高さの四隅それぞれの角穴に棚受け金具を差し込みます。

❷棚板を棚受け金具に載せます。

※棚板は必ず棚受け金具の先端にひっかかるように載せて下さい。不十分だと落下の原因になります。

※上記の図は棚板の取付を説明する為、内部が見えるように扉を取り外してあります。

8 調整

扉を閉めた際に戸当たりに隙間が生じる場合は、床板の水平がとれていない可能性があります。再度床板の水平を確認し、高さの調整をしてください。

9 転倒防止工事

使用する部品		
部品番号	名称	数量
19	アンカープレート	2

※その他、転倒防止工事に必要なワイヤー、アンカーボルト、セメント等は別途ご用意ください。

壁や柱に固定

❶転倒防止金具にワイヤー等切れない素材を通し固定します。

❷ワイヤーを取付金具に固定し壁や柱等に固定してください。

土の地盤に固定

❶図のような位置に30cm角程度の穴それぞれ四隅に掘ります。

※穴の大きさは設置場所の状況により変ります。

❷アンカープレートを物置に固定します。

❸穴にセメントを流し込みアンカープレート先端が覆われるようにします。

コンクリートの地盤に固定

❶アンカープレートを地面に着く位置で物置に固定します。

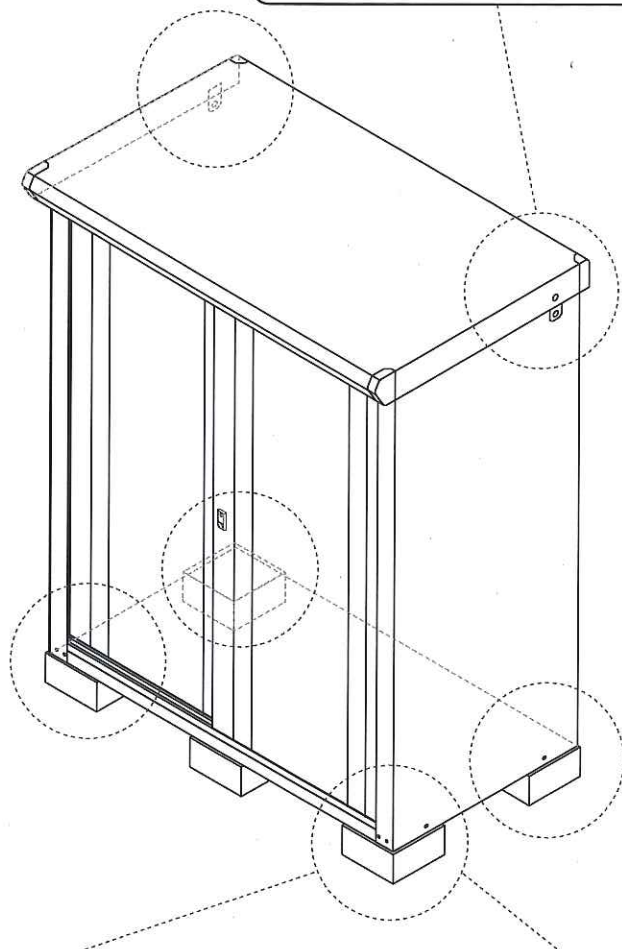
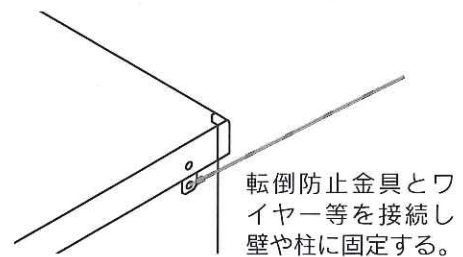
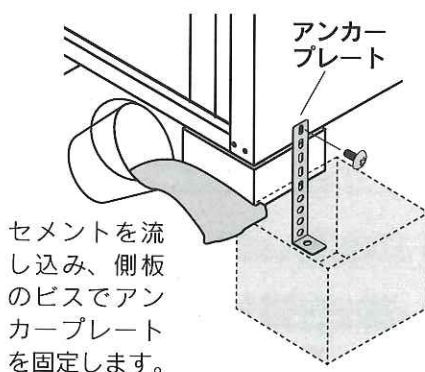
❷アンカーを打つ位置を決めドリルでした穴をあけます。

❸アンカーボルトを打ち込み固定します。

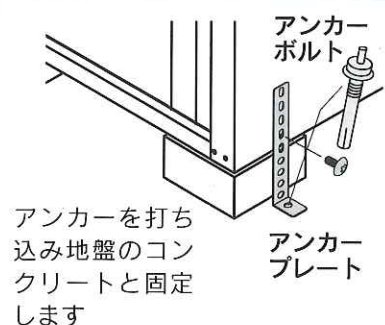
※アンカーボルトは市販品（M10 オールアンカー）を別途ご用意ください。

転倒防止工事は、物置を設置する場所や下地によって異なりますので、設置する場所に合わせた工事を行って下さい。

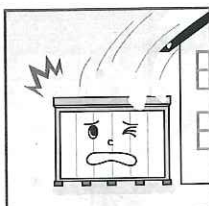
地盤が土の場合

セメントを流し込み、側板のビスでアンカープレートを固定します。

※セメントの作り方等については購入されたセメントの袋に記載されている説明を参照ください。

地盤がコンクリートの場合

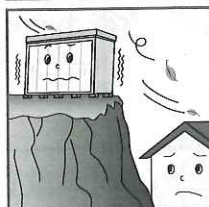
アンカーを打ち込み地盤のコンクリートと固定します

※コンクリートに穴をあける際には振動ドリルが必要になりますので、別途ご用意ください。
※アンカーボルトは市販品（M10 オールアンカー）を別途ご用意ください。

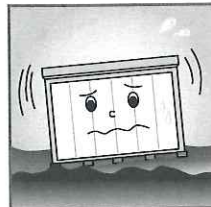
お買い求めのお客様へのお願い

設置場所のご注意

●屋根の雨や雪などが、落ちる場所への設置はしないで下さい。

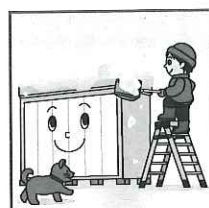
※破壊または倒壊して、ケガをしたり収納物に被害を与えます。

●ベランダなど避難通路には、設置しないで下さい。

※非常の場合に、避難通路として使えなくなります。

●屋根・屋上・崖の淵など、安全の確認出来ない場所へ設置しないで下さい。

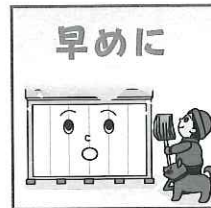
※強風により転倒破壊し、部材の落下により、周囲に被害を与えます。

●地盤がやわらかい場所は、地固めを行ってから設置しましょう。

※変形または転倒します。

積雪時のご注意

●雪下ろしは、屋根に乗らないで脚立等ご使用の上、安全に行いましょう。

※転落し、ケガをします。

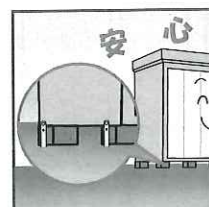
●物置の周りの雪も早めに取り除いて下さい。

※周りの雪で、変形・破損します。

●安全の為、屋根の積雪は、早めに雪下ろしをして下さい。

※許容範囲を超えた場合、物置の変形・破壊によりケガ・死亡事故、収納物の損害につながります。

※一般地域用として積雪許容荷重は1176N/㎡(120kgf/㎡)です。積雪量1cm当たり2kgf/㎡(比重0.2)の単位で計算しています。地域・気象条件により単位量が異なりますのでご注意下さい。

●豪雪地帯への設置はしないで下さい。

転倒防止対策

●強風で転倒しない様に、付属のアンカーまたは転倒防止金具で本体を固定して下さい。

※強風により転倒破壊します。

詳しくは販売店におたずね下さい。

お手入れ方法

●物置は鉄板製の為、季節の変化や、地域差、又は気候により、庫内は温度、湿度、ほこり、結露などの影響を受ける場合があります。
1.ドアを開けて庫内の換気をして下さい。季節または地域により、庫内がむれたり、結露する場合があります。
2.衣類など湿気やほこりを嫌う収納品はビニール袋などに入れて下さい。
3.電気製品は必ず段ボール箱に入れて収納して下さい。ほこりや湿気から電気製品を保護して下さい。
4.危険物は収納しないで下さい。
5.漬物樽等は塩分によりサビの発生原因になりますので受け皿の上に樽を置いて下さい。
6.肥料や農薬などもサビの発生原因になりますので、床面に散乱しないようにして下さい。
7.屋根や雨樋の枯葉・ゴミは、取除いて下さい。

留　意

●台風・強風の時は風が吹き込まないように、扉を閉めてカギをかけて下さい。
●豪雪地帯への設置はしないで下さい。
●飲食品・穀物・漬物・ペットフードなどの収納は昆虫や小動物に荒らされる恐れがあります。また、薬品、湿気を嫌う衣服や絵画・人形などの収納は湿気や乾燥等により腐食・変質を引き起こす可能性がありますので収納は避けてください。
1.塩分は、サビの発生原因となります。
2.熱や湿気を嫌うものは段ボールやビニール袋などに入れて収納して下さい。
3.特に重いものを収納する時はカタログ・取扱説明書などで床板・棚板の強度を確認して下さい。
4.夏の高温、多湿、冬の結露が原因で、変質・変色するおそれのあるものは収納しないで下さい。
●塗装が傷むため排気口等排ガスのかかる所は避けて下さい。
腐食の原因になります。
●本来、物の収納用として使用されるもので、他の目的(遊び場或いは、住居の一部など)のために、使用しないで下さい。障害事故の原因となります。

《お問い合わせは》

サンキン株式会社 スチール機器事業部
エクステリア商品部

西部営業所
〒550-0013　大阪府大阪市西区新町2丁目15番27号
TEL (06) 6539-5560　FAX (06) 6539-5569

東部営業所
〒350-1335　埼玉県狭山市柏原337-6
TEL (04) 2954-4324　FAX (04) 2953-3314

2012. Mar

※この組立説明書の内容は、2012年3月現在のものです。仕様並びに装備は予告なく変更する場合がございます。